

みずほCustomer Desk Report 2023/06/21号(As of 2023/06/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	142.21
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.92	1.0925	155.10	1.2794	0.6850
SYD-NY High	142.26	1.0946	155.38	1.2806	0.6855
SYD-NY Low	141.22	1.0891	154.07	1.2714	0.6754
NY 5:00 PM	141.45	1.0916	154.37	1.2763	0.6787
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,053.87	▲ 245.25	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	13,667.29	▲ 22.28	日本10年債	0.3800%	▲0.0100%
S&P	4,388.71	▲ 20.88	米国2年債	4.6837%	▲0.0358%
日経平均	33,388.91	18.49	米国5年債	3.9432%	▲0.0423%
TOPIX	2,283.85	▲ 6.65	米国10年債	3.7179%	▲0.0474%
シカゴ日経先物	33,170.00	▲ 580.00	独10年債	2.4035%	▲0.1115%
ロンドンFT	7,569.31	▲ 19.17	英10年債	4.3315%	▲0.1550%
DAX	16,111.32	▲ 89.88	豪10年債	4.0190%	0.0240%
ハンセン指数	19,607.08	▲ 305.81	USDJPY 1M Vol	8.91%	▲0.16%
上海総合	3,240.36	▲ 15.44	USDJPY 3M Vol	9.34%	0.03%
NY金	1,947.70	▲ 23.50	USDJPY 6M Vol	9.60%	0.00%
WTI	71.19	▲ 0.74	USDJPY 1M 25RR	▲0.65%	Yen Call Over
CRB指数	267.41	▲ 3.49	EURJPY 3M Vol	8.70%	▲0.09%
ドルインデックス	102.54	0.02	EURJPY 6M Vol	9.12%	▲0.08%

東京	東京市場は141.92レベルでオープン。5・10日で仲値にかけて実需のドル買いが出て堅調推移。昨年11月22日の高値である142.25をわずかに更新し、142.26を現現。ただ、豪中銀の会合議事録を受けて豪ドル/円が下落したことや、本邦閣僚から円安けん制発言が聞かれるとドル/円も下落。141.59の安値まで下押す。その後は大口のドル買いが断続的に入る展開で、相場は反転し142円台を回復。142.14レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.14レベルでオープン。欧州時間は円高ムードで142円を割れると141.34円まで売られ141.37レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は141円台後半でスタート。ゴトー日に伴う実需の買いから年初来高値を142.26まで更新する場面も見られたが、今月相次いで本邦政府要人の為替介入を思わせる発言を警戒してか、伸び悩み反落し、141.37レベルでNYオープン。朝方に発表された米5月住宅着工件数と米5月建設許可件数が予想を上回った事が買い材料となり、141.75まで上昇。しかし、その後は米金利が低下する展開が重しとなり、141円台前半まで下落する。午後は午前中の流れを引継ぎ、安値の141.22まで下落。売り一巡後は小幅反発し、141円台半ばまで値を戻す。終盤は141.40付近で動意乏しくなり、141.45レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。1.0940台付近まで上昇するも、続いて発表された独5月PPIの結果が予想を下回った事を受け、じり安で推移し、1.0929レベルでNYオープン。朝方は独金利が低水準で推移する展開を背景に、一段安となり、1.09台を割り込み、1.0891まで下落。午後は1.09前半台まで買い戻されるも、上値追いは限定的。狭い推移が続いた後、1.0916レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・逸見

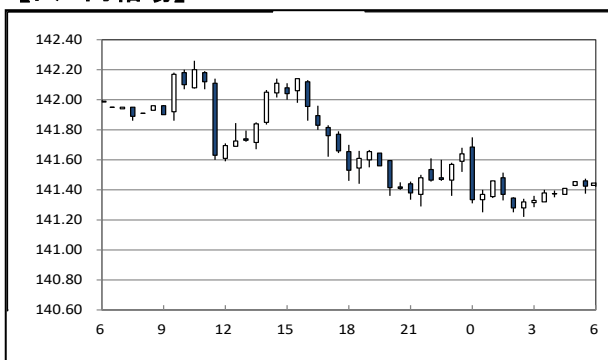
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月20日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	4月 0.7%/-0.7%	-
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	5月 -1.4%/1.0%	-0.7%/1.7%
	21:30	米 住宅着工件数	5月 1631k	1400k
	21:30	米 建設許可件数	5月 1491k	1425k

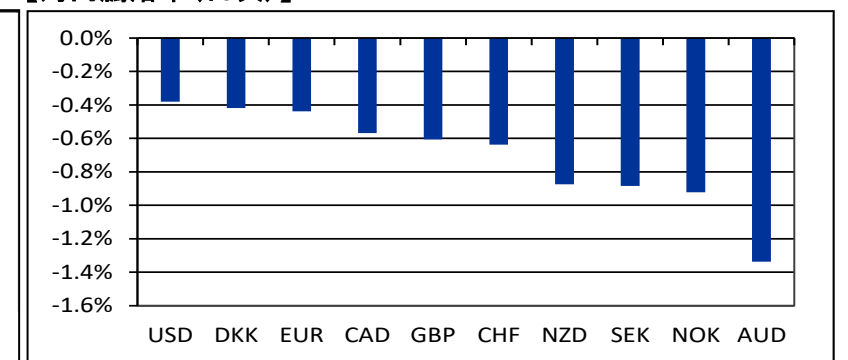
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月21日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.5%/8.4%	1.2%/8.7%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	5月 6.8%	6.8%
	23:00	パウエルFRB議長 議会証言	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.00-142.20	1.0850-1.1000	153.50-155.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は序盤に7カ月ぶりの水準である142.26を付けるも、本邦政府要人に円安けん制発言の影響や米金利低下の影響もあり141円台に反落している。
本日のドル円は141円台半ばを中心としたもみ合いを予想。142円を伺うタイミングでは本邦による為替介入への警戒感がくすぶる状況となっており、本日は141円台前半から半ばでの地固めの時間帯が続くそう。また、本日海外時間にパウエル議長の議会証言が予定されている。直近FOMCを消化後ということもありマーケットインパクトのある発言は出てこないと考えているが、注目度は高くそれまでは積極的にポジションを傾ける動きは出にくいのではないかと。